

## 晴れやかネットの診療時における具体的活用例と 参加のメリット

- ✓ 晴れやかネットは、岡山県、岡山県医師会、岡山県病院協会の三者で設立された、一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会が運営。
- ✓ 総務省の医療ネットワークのモデル事業の国の補助金の交付を受けています。

日時：平成29年10月14日（土曜日）  
場所：岡山県医師会館 三木記念ホール



### ①晴れやかネットとは・・・

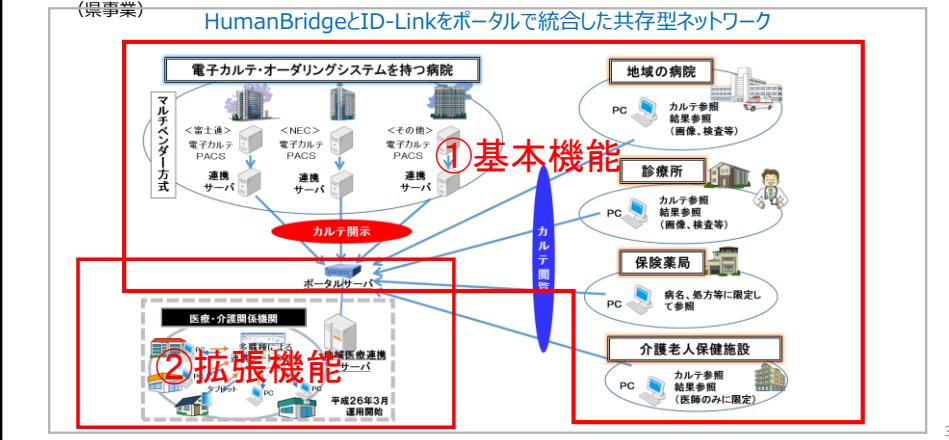
晴れやかネット参加施設間で検査結果や治療方針等の医療情報を安全なネットワークを介して共有する仕組みです。H25年1月より運用全国最大級の規模で運営しています。

メリット：複数の医療機関を受診している患者情報の集約共有化により重複処方の排除、検査結果を用いた処方の変更による副作用の軽減、重複検査を減らす。



## ネットワークの構成 – マルチベンダ方式（複数の会社が関与）

- ✓ 施設が採用する電子カルテのメーカーの種類を選ばずに接続可能な富士通HumanBridgeとNEC製ID-Linkの2社のシステムを採用し、両備システム、NTTデータなどのマルチベンダ方式で構築（平成25年1月に基本機能の運用開始）
- ✓ 閲覧施設は晴れやかネットのポータルサイトを介してHumanBridgeまたはID-Linkにアクセスしカルテ情報を参照。また、平成29年4月より、小規模医療機関の電子カルテ、レセコンを活用した情報共有システム（シェアメド）の運用を開始した。（双方向性の確立）
- ✓ 平成26年3月より、晴れやかネットのインフラを活用した在宅介護連携ツール「ケア・キャビネット」を稼動（県事業）



3

## 晴れやかネットポータルサイト (各施設とVPN回線で接続)

- 基本機能①病院の診療データを診療所、薬局で閲覧
- ②シェアメド：診療所の診療データを他の医療機関や薬局で閲覧
- 拡張機能：③ケアキャビネット：在宅医療での医師、訪問看護師、薬剤師、ケアマネジャー等との患者情報の共有

4

## ①晴れやかネット基本機能

✓ 基幹病院で受けた検査結果や治療方針等が、身近なかかりつけの診療所等で閲覧できることにより、良質な医療サービスを利便性よく受けることを可能にした地域医療情報ネットワークです。

✓ 基幹病院の診療情報をID-Link (NEC) または、HumanBridge (富士通) の連携システムにより、かかりつけ診療所などの医療機関で参照できます。



5

## ③晴れやかネットケアキャビネット

- 連絡ノートのような情報や地域連携バスなどのファイル、床ずれのデジカメ写真や歩行状態の動画などを共有
- 文章での入力だけでなく、人型のアイコンやシェーマを使った入力などにより、入力負荷を軽減
- 予定表機能でスタッフの訪問予定を把握できることにより、グループの連携を促進

This screenshot shows the 'Care Cabinet' application interface. On the left, a timeline (タイムライン) displays a series of events with dates and descriptions, such as '2014年2月4日 55' (February 4, 2014, 55). One entry shows a digital camera image of a patient's hand. On the right, a mobile device screen shows a digital camera view of a patient's hand, with a red arrow pointing from the main interface to this screen. The interface includes various buttons and tabs for managing patient records and communications.

### 4列タイムライン並記

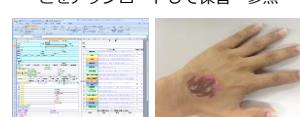
医師、看護師、ケアマネ、薬剤師など職別  
毎の記録・記載を時系列に併記します。

### タブレットの利用

iPad、iPhoneから記事の登  
録・参照が行えます。

### ■ファイル登録

・地域連携バス・PDF・画像・動画などをアップロードして保管・参照



### ■入力および離型入力

・SOAP形式や自由形式での入力  
・定型句や選択形式、シェーマを活用  
した入力支援



### ■予定表

・患者様の1ヶ月の予定を登録・管理



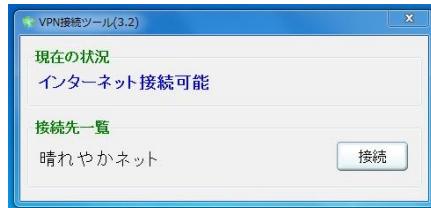
6

## ②双方向の仕組みとは（基本機能）

双方向とは、病院の診療データと診療所の診療データを相互に  
閲覧でき共有できるシステムです。  
薬局では、病院と診療所のデータを閲覧できます。



## VPN接続ツールで接続をクリック（ハードVPN）



ハードVPNは、晴れやか用のパソコン  
とLANの間に専用のルーターを設置した方法

- ①利用者IDまたはニックネーム入力
- ②パスワードを入力
- ③ログイン

※ソフトVPN方式もあります。

同意書【開示施設向・閲覧施設向】

利用規約・プライバシーポリシー・よくある質問・お問い合わせ・入力マニュアル

## 晴れやかネット基本機能 利用イメージ

- ✓ ポータルサイトは、患者名からHumanBridge(富士通電子カルテ) やID-Link (NEC電子カルテ) などへリンクするための入口です。施設名や【あかさたな】検索が可能

※患者登録を申し込む  
次に公開患者一覧に患者名を検索すると  
患者一覧に表示される。

Portal screen showing patient search results. A red arrow points to the 'HumanBridge' link in the sidebar. Another red arrow points to the 'ID-Link' link in the sidebar.

**ポータル画面に表示された患者名から、各接続システムへ遷移させることにより、診療情報へスムーズにアクセスが可能。**

9

## ID-Link カレンダー表示

ID Link  
www.suzie.com

Home > 潛伏患者漏認 > 地域連携システム>

患者 ID [ ]

今日へ移動

2016 12 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 01

過去 未来

カレンダー表示

文書一覧 画像一覧 ファイル一覧 検査一覧 サマリービュー

レポート ファイル 個別

記録 リード 選択

新規作成...

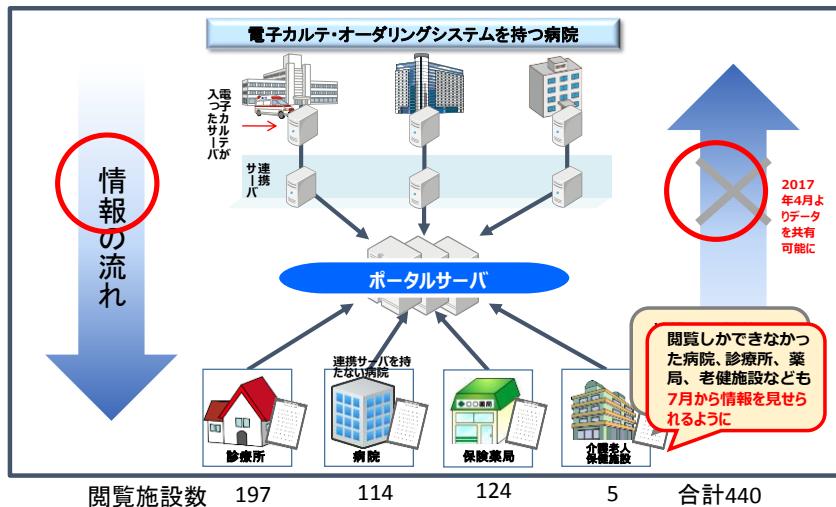
Terms of Use:11

10



## 基本機能の情報の流れ

- ✓ 現在の晴れやかネットは情報開示施設の情報を閲覧施設が参照でき、閲覧施設からも処方や検査結果を提供できる双方向になっている。



13

## レセコンからのアップロードの仕組み

診療所・薬局・検査センターが保有する診療情報を相互に共有できる仕組みを構築

診療所・薬局・検査センター等



VPN回線は、インターネット回線の中にセキュリティで囲ったトンネルを設けてこの中を1:1に交信する仕組み

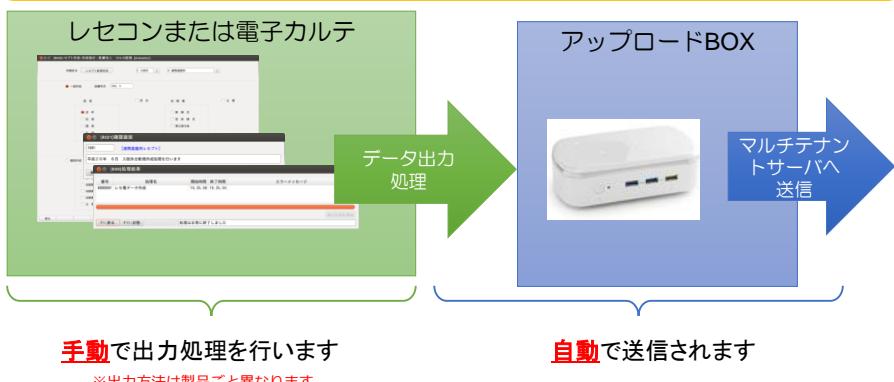
データセンター



14

## アップロードBOXによるデータ出力

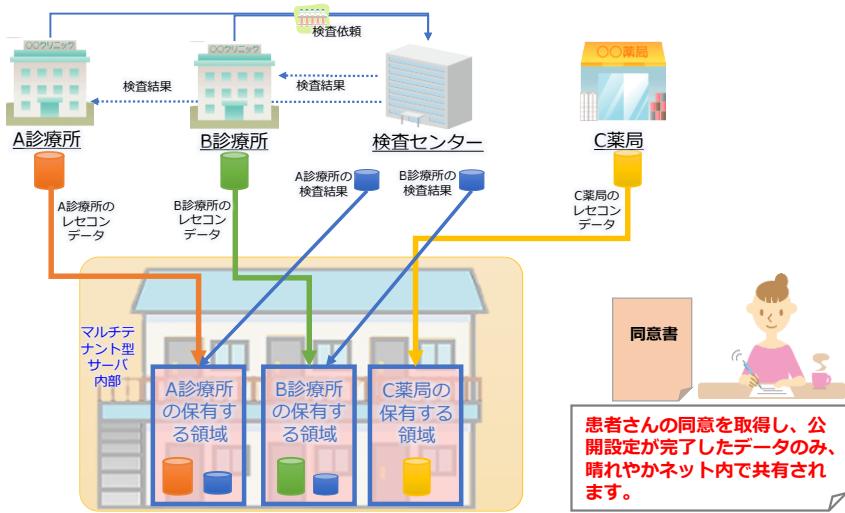
レセコンから、データ出力処理を行なうことにより、アップロードBOXから自動送信します。



15

## 診療所のデータの保存方法 マルチテナント型サーバ(両備システムズ保有)での外部保存

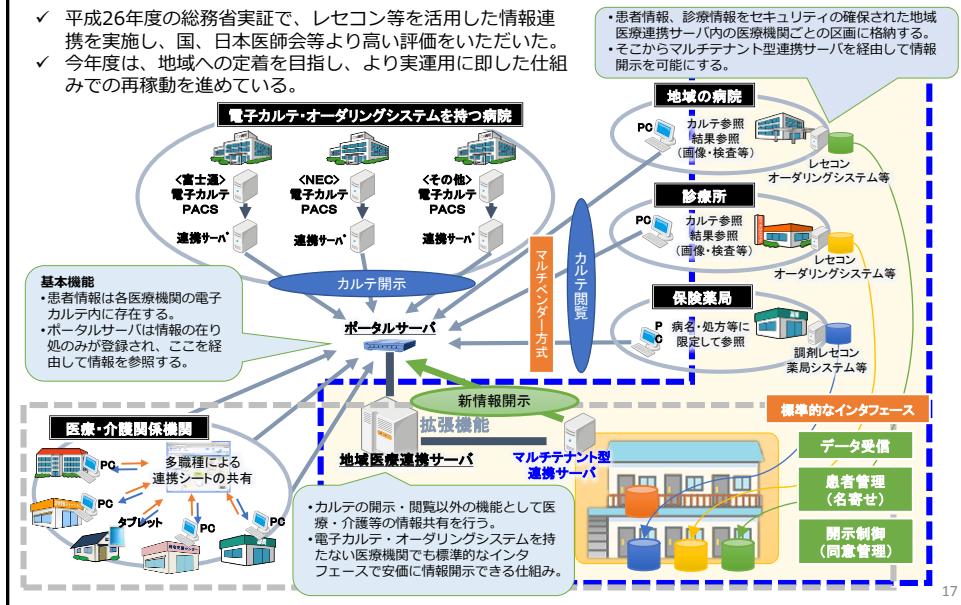
- 診療所・薬局・検査センター等からアップロードBOXにより出力された情報は、晴れやかネットのマルチテナント型サーバにて、各施設ごとの領域で区分けされたフォルダ内に厳重に保管されます。



16

## 平成26年度 総務省EHR(electronic Health Record)実証

- ✓ 平成26年度の総務省実証で、レセコン等を活用した情報連携を実施し、国、日本医師会等より高い評価をいただいた。
- ✓ 今年度は、地域への定着を目指し、より実運用に即した仕組みでの再稼動を進めている。



### ③小規模医療機関情報送出システム システム概要



## システムの名称

### 小規模医療機関情報送出システムとは

HumanBridge、ID-Linkと同様に小規模医療機関のレセコンもしくは電子カルテにある処方、注射、検査の情報をデータセンターにアップロードし連携医療機関から参照するシステムです。

この小規模医療機関情報送出システムをShareMed(シェアメド)と呼んでおります。

### ShareMed(シェアメド)

Share the Medical information

19

## シェアメドで公開される項目（1／2）

データ項目	レセコン	電子カルテ	薬局	検査センター
患者基本情報	○	○	○	×
アレルギー	○(手入力)	○(一部手入力)	○(手入力)	×
病名	○	○(一部手入力)	○(手入力)	×
処方オーダ	○	○	○(調剤情報)	×
注射オーダ・実施	○	○	×	×
検体検査オーダ	○	○※	×	×
検体検査結果	×	○	×	○
入退院実施	○	○※	×	×
外来受付	○	○※	×	×
既往歴、現病歴			手入力	
服薬指導			手入力	
メモ、ファイル登録			手入力	

※各施設のシステムによっては、共有できない場合があります。 20

## シェアメド情報参照画面

✓ シェアメド情報参照画面

画面クリニック

患者名：おかやま 太郎 昭和 11年 4月 7日 (55歳)

患者詳細情報 文書入力 検査結果入力 ファイル登録

医療機関：全施設 以前データ取得 最新化

文書タイプ 12/24 12/25 12/28 12/30 12/31 01/04 01/05 01/06 01/10 01/11 01/12 01/13 01/16

処方 2 1

注射 1

検体 検査 1(1) 2(0) 1(0) 2(1)

文書 1 2 2 1

移動 1

ファイル

医療施設 患者ID

おかやま B病院	0099999901
岡山 A病院	9900971363
岡山 C薬局	9900002072
倉敷 C病院	0900000930
ケアキャビネット	0099999923

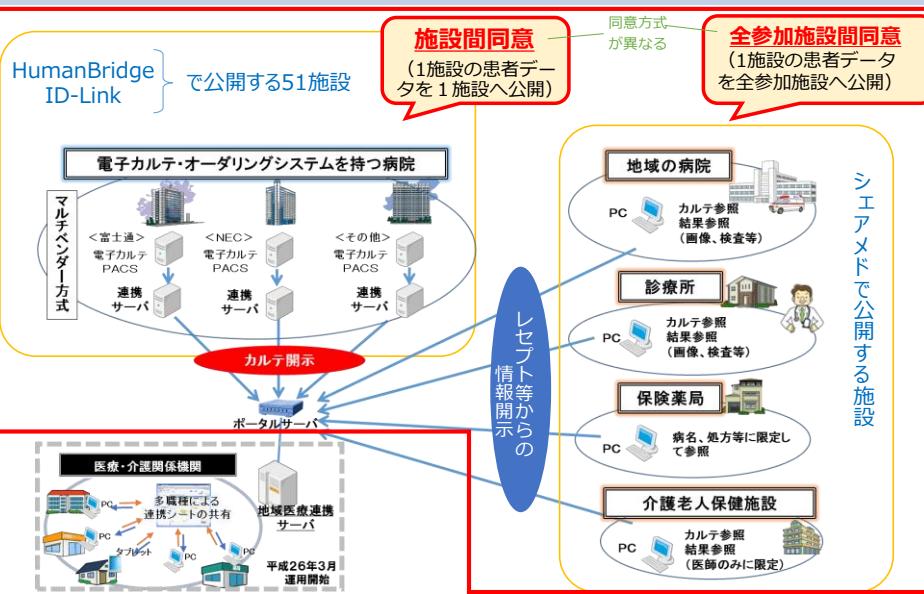
処方オーダー 2016/12/30

■岡山 A病院	2錠
クラリジッド錠 200mg	28日分
分2朝夕食後	
ムコノルパン錠 45mg	1錠
オルタク食後	28日分
P.L配合颗粒 1g／包	3包
分3朝食後	14日分
ロキソニン錠 60mg	3包
分3朝食後	28日分
オブレアス吸入用カプセル 150μg	28CP
1日1回朝寝吸入	
ロキソニン錠 100mg	5包
■倉敷 C病院	
ナフトビジルO錠 25mg 「ケミファ」	2錠
分2朝夕食後	28日分

レセコンの処方内容と院外検査が表示される。処方なし検査なしの場合は、  
シェアメドに登録できない。電子カルテも対応

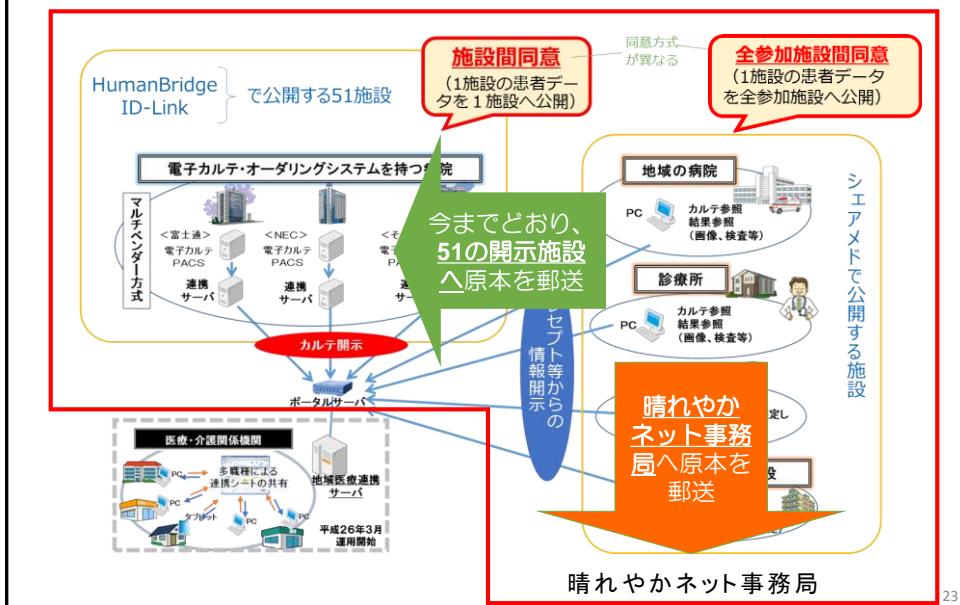
21

## 同意方式の違い

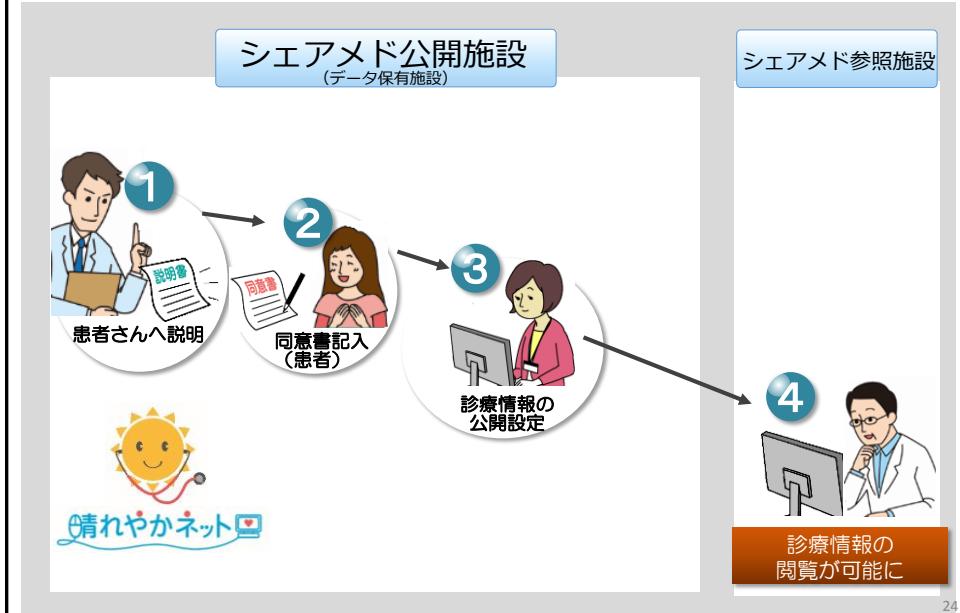


22

## 同意書の原本保管

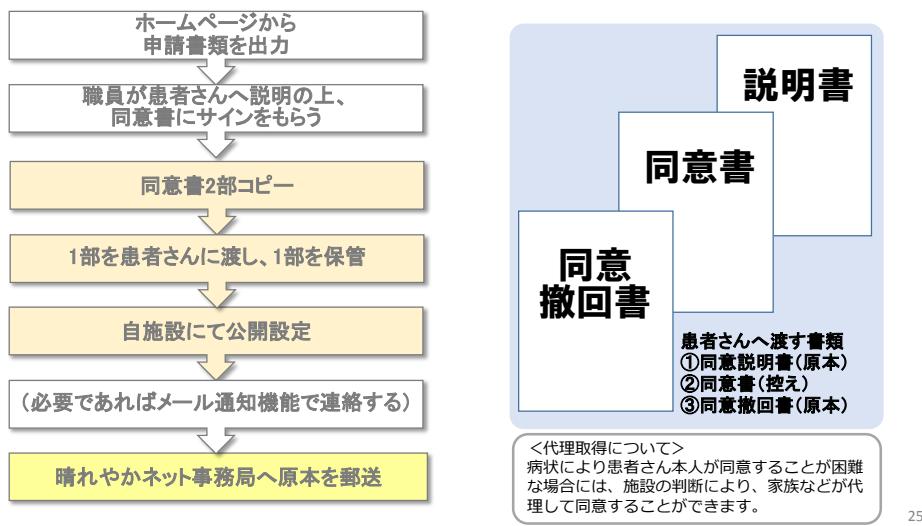


## 同意書運用フロー (自施設で取るケース)



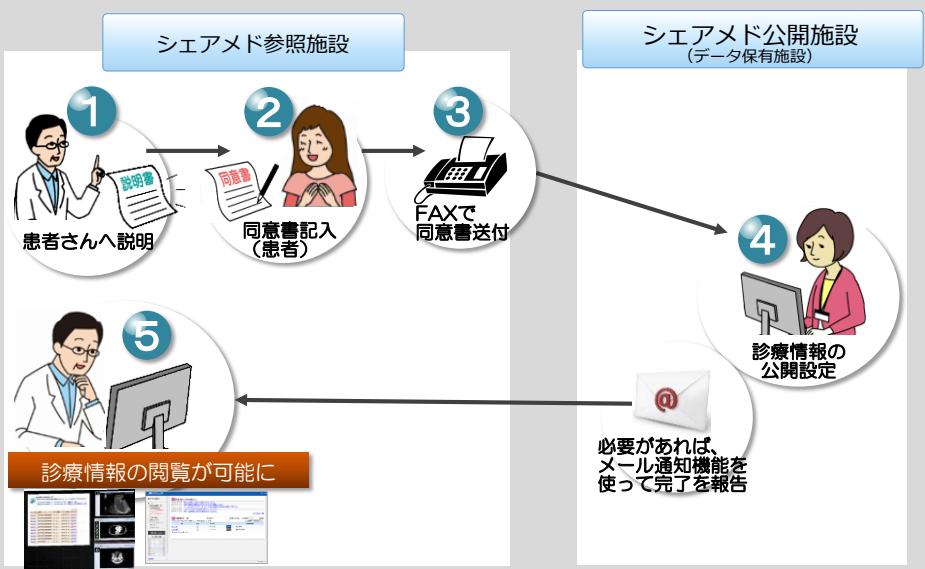
## 同意書運用フロー（自施設で取るケース）詳細

自施設で患者さんから同意を取り公開設定を行なう場合のフローです。



25

## 同意書運用フロー（データ保有元へ公開を依頼するケース）



26

## 事例集 症例30才女性妊婦

- 30才女性 妊娠29週、喀痰と咳嗽を主訴として来院
- お薬手帳持参なし、薬剤情報の持参なし。
- CRP1.3、WBC2000、NE410と低下
- 来院3週前に嘔吐、鼻水、頭痛、咳嗽ありAクリニック受診感冒薬投薬3日後B病院へ紹介
- 晴れやかネットより、B病院でクラミディア抗体上昇ありエリスロマイシン5日処方、その後Cクリニックでエリスロマイシン5日処方 その後1週間経過して、当院へ来院
- エリスロマイシンによる顆粒球減少症と判断しD病院血液内科紹介、入院加療にて軽快退院、咳に関しては、D病院で治療中（これも晴れやかネットで経過を追跡）
- B病院の医師から晴れやかネットの閲覧履歴から電話あり病状説明

27

## 9才男性

- 2017年：3日前よりA病院の救急で肺炎として加療中
- 発熱が続き咳がとれないため来院。
- 晴れやかネット：A病院の胸部レントゲンで肺炎確認、LAMP法でマイコプラズマ抗原陽性
- ジスロマック3日投与中、第3病日でも解熱し始めておらず、オゼックス細粒に変更して5日後に治癒確認しました。

## 45才女性

- 2016年
- 嘔吐と下痢、嘔吐激しく食事が食べられず。輸液をする。お薬手帳持参なし
- A病院の糖尿病内科などの薬を晴れやかネットで確認
- シックデイと判断してメトホルミン服用中止を指示後日主治医を受診させる。

## 70才代男性

- 2016年秋
- A病院の循環器内科より、高血圧、深部静脈血栓症による肺塞栓症で加療後、リクシア 30mg処方で当院へ紹介
- 血液疾患でもA病院血液内科へ通院中と話されるが疾患名不明
- 晴れやかネットで確認 Mタンパク血症と判明
- 循環器内科の紹介状に血液疾患の記載なし。

## 58歳女性

- ・当院にて、高血圧、高脂血症で通院中
- ・A病院で関節リウマチで通院中、**MMP-3（マトリックスマタロプロテアーゼ-3）** 受診当日には、結果がでない。CRPなどの炎症マーカーと比べ実際の関節破壊の程度を反映するため、病勢の把握や治療効果の判定に有用である。
- ・A病院受診後1週間後に当院受診されて、晴れやかネットでMMP-3の結果をお伝えしている。MMP-3の上昇があれば、ステロイド用量の調節が必要で、A病院に早期受診をしてもらっている。

31

## 現在89歳女性

- ・2型糖尿病でH8年より当院へ通院、シダグリフチゾ50mg内服でHbA1cは6.3%前後で推移、H19年HbA1cが上昇し始め3ヶ月でHbA1c 9%まで上昇、血糖コントロールと原因精査のA病院へ紹介、IgG4関連疾患（自己免疫性胰炎と診断）
- ・退院後、血糖コントロールは当院で、ステロイドの用量調節はA病院で実施、A病院受診時IgG4測定（当日結果がでない）当院で数日後結果を晴れやかネット（H27年より）で確認、増悪時ステロイドの增量が必要でA病院へ紹介状を持参して受診をしてもらい。ステロイドの增量を行う。

32

## 門前薬局へ薬剤と検査データの開示例

- ・耳鼻科のクリニックと内科のクリニックが同じ薬局へ処方箋を交付
- ・すべての患者さんをシェアメドで公開
- ・内科の検査を耳鼻科で確認してから処方
- ・薬剤師さんより院外処方箋の患者さんの肝機能、腎機能、薬剤の重複を確認してもらえる。

33

## 在宅の患者

- ・在宅診療で、院外処方箋で薬局に管理している場合、シェアメドで血液検査の情報を薬局に提供している。

34

## 電子的診療情報評価料 30点

- 別に※厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関が、別の保険医療機関から診療情報提供書の提供を受けた患者に係る検査結果、画像情報、画像診断の所見、投薬内容、注射内容、退院時要約等の診療記録のうち主要なものについて、電子的方法により閲覧又は受診し当該患者の診療に活用した場合に算定する
- ※ (1) 他の保険医療機関等と連携し、患者の医療情報に関する電子的な送受が可能なネットワークを構築していること
- (2) 他の保険医療機関と標準的な方法により安全に情報の共有を行う体制が具体化されていること

### 算定のポイント

- ①診療情報提供書を病院から受け取る
- ②晴れやかネットを利用して画像、検査結果、投薬などの説明をする。
- ③説明した内容をカルテに記載する。

35

